

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ピース	事業所番号	3310102698
住 所	岡山市北区今3-3-16	管理者名	河原 登美子
電話番号	086-250-3200	対象年度	R2年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>岡山市東区西大寺にある「岡山フルーツ農園」での施設外就労。いちご苗生産補助作業や、ぶどうの施肥作業、施設修繕作業、ハウス建設補助作業、新規借受け農地の開墾作業等様々な作業受託を行っている。生産された農産物は、同社直売所、いちご狩り、ぶどう狩り等の直接販売の他、県内のスーパー等で販売されている。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>・ハウスビニール取付の様子</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域農業の担い手である「岡山フルーツ農園」と連携し、作業を補助することにより、地域での特産品である、いちごやぶどうの生産を下支えし、地域農業の活性化を図る。</p>	 
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>岡山フルーツ農園との地域連携活動がスタートして以降、同社のいちご生産量2倍、ぶどう借入園地が約3倍に生産拡大に成功し、地域内でも大きな農業経営体になり、地域農業を支える存在になっている。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

地域内の農業は高齢化が急速に進み、連携以前は、弊社が管理できる限界を上回るペースで、農地が集まってきていました。弊社が生産している、いちごやぶどうは、機械化できない要素が多く、これまで、規模拡大する方針の弊社にとって手作業の増加は、ボトルネックになっていました。例えば、ぶどう棚が残ったまま、雑木が生えているような耕作放棄地は、機械での撤去作業ができず、これまで拡大したくてもできない環境でした。

地域内連携が始まってからは、これまで描いていた農業生産の拡大がスムーズになり、弊社は現在地域で一番の量（いちご・ぶどう）を生産するまでに至っています。今後もこのような取り組みを加速して、地域農業課題を解決し、連携事業所と共に成長していきたいと考えています。

連携先企業名	株式会社 岡山フルーツ農園	担当者名	代表取締役 高原弘雅
--------	---------------	------	------------